

日本

貿易統計 (2019年8月)

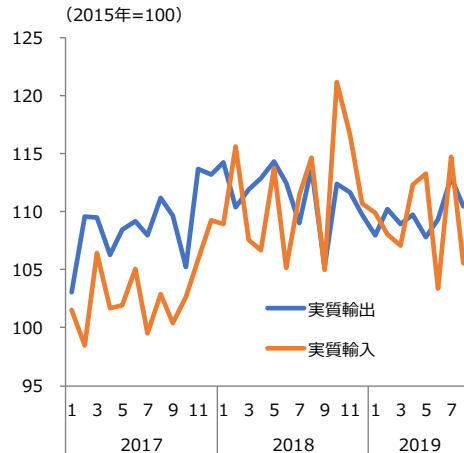
— 海外経済減速から実質輸出は減少継続 —

政策・経済研究センター

綿谷謙吾

03-6858-2717

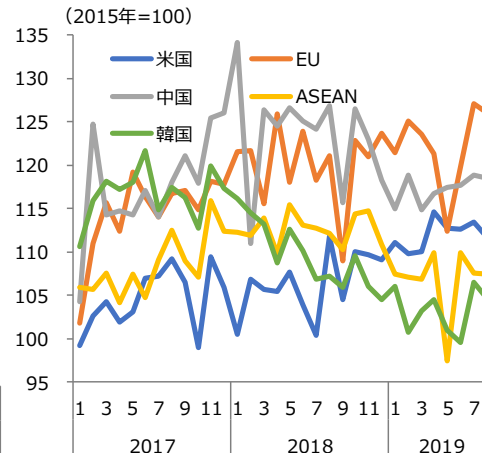
1 実質輸出入



注：当社による季節調整値。

出所：財務省「貿易統計」、日本銀行「企業物価指数」より三菱総合研究所作成

2 実質輸出：国別

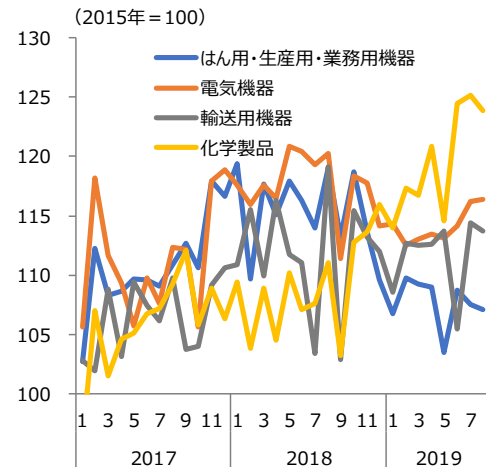


評価ポイント

今回の結果

- 19年8月の実質輸出（当社による季節調整値）は、前月比▲2.2%、実質輸入は、前月比▲8.0%といずれも減少に転じた。貿易収支（季節調整値）は、▲1,308億円と、14ヶ月連続で赤字。
- 実質輸出（当社による季節調整値）を国別で見ると、中国（前月比▲0.3%）、ASEAN（同▲0.1%）はほぼ横ばいであるが、均してみると減少傾向にある。EU（同▲0.9%）は、輸送用機器が前月の大幅増の反動から大きく減少し、3か月ぶりの減少に転じた。米国（同▲1.5%）は、増加基調は維持しているもの、電気機器・輸送用機器の減少が全体を押し下げた。韓国（前月比▲1.7%）は、減少傾向にあったが、7・8月は持ち直しており、ホワイト国除外適用（8月28日）を前に駆け込み輸出が行われた可能性がある。
- 半導体製造装置の実質輸出は、前年の高い伸びからの反動もあり前年同月比▲24.0%と2か月連続の減少。均してみると減少傾向にある。米中貿易摩擦や半導体関連需要の調整の影響から、中国向けや韓国向けの減少が続いている。

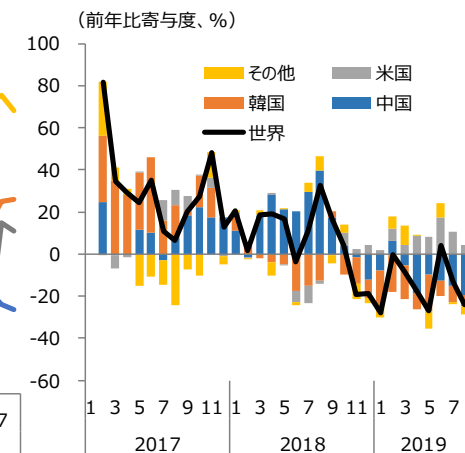
3 実質輸出：品目別



注：当社による季節調整値。

出所：財務省「貿易統計」、日本銀行「企業物価指数」より三菱総合研究所作成

4 半導体製造装置の実質輸出



基調判断と今後の流れ

- 輸出は海外経済の成長減速などを背景に、18年後半以降、緩やかな減少傾向にある。
- 先行きの輸出は、緩やかな減少が継続すると予想される。日米貿易交渉は大枠で合意したが、米中貿易協議は難航している。米国の対中関税第4弾の影響の顕在化により、中国経済の減速傾向も継続する見込みであり、中国向け輸出は減少が続くだろう。
- 半導体関連は、米国による中国ハイテク製品排除の動き、日韓対立の影響が9月以降に顕在化すると予想されることから、半導体関連輸出の底入れは20年前半にずれこむ可能性が高まっている
- さらなる下振れリスク要因として、①米中貿易摩擦の一段の激化、②中国をはじめとする海外経済のさらなる減速、③一段の円高の進行、が挙げられる。